

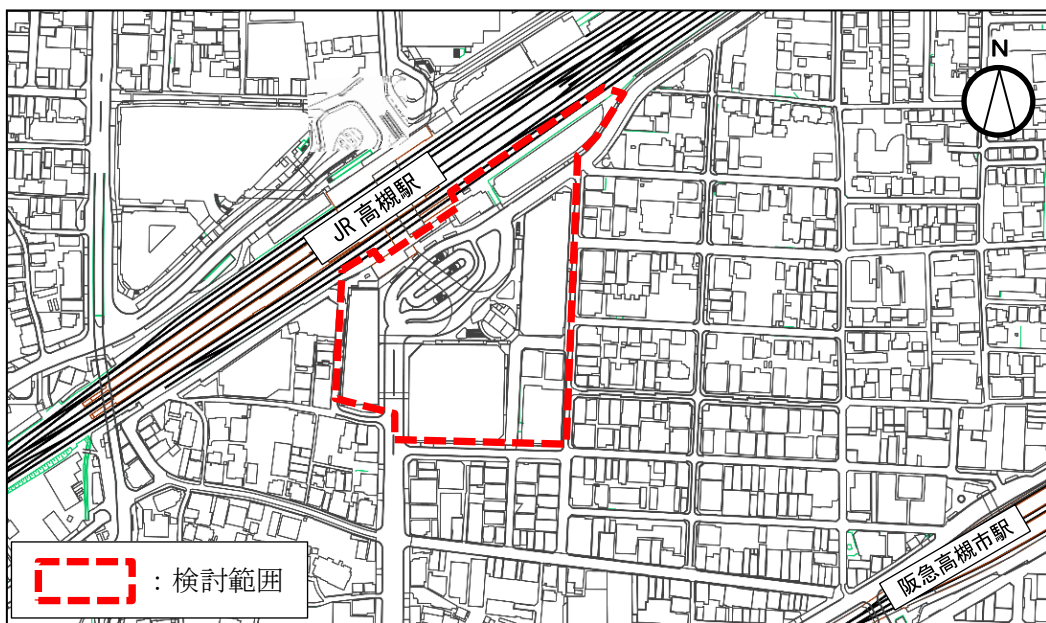
2 JR高槻駅南地区の再整備について

2-1 JR高槻駅南地区市街地再開発準備組合による取組

(1) 主な経過

年月	主な取組
平成 28 年 11 月 令和 3 年 7 月	J R 高槻駅南地区の今後のあり方に関する検討会が発足 J R 高槻駅南地区まちづくり協議会を設立 J R 高槻駅南地区のまちづくりの方向性等検討会を設置
令和 6 年 2 月 令和 7 年 2 月	J R 高槻駅南地区市街地再開発準備組合を設立 事業化検討パートナーと事業化検討支援に関する基本協定を締結 ⇒事業化検討パートナー 代表企業：J R 西日本不動産開発株式会社 構成企業：野村不動産株式会社、浅井謙建築研究所株式会社
令和 7 年 4 月	事業計画素案の作成に向けた取組に着手

(2) 再整備検討範囲



(3) 事業化に向けた取組

準備組合は事業化検討の深度化を図るため、事業化検討パートナーの支援を受け事業計画素案の作成に向けた取組に着手され、まずは計画骨子作成に向けた諸条件の整理を目的として、すべての権利者を対象として将来の権利の持ち方等についてアンケート調査するとともに個別面談を実施された。

2－2 本市の取組

準備組合が事業計画素案の作成に向けた取組に着手したことを受け、本市としてもにぎわいの創出や公共施設の在り方等に関して庁内調整を図るため、庁内連絡調整会議において、都市機能及び都市基盤の在り方について整理・検討を行った。

《検討内容》

○検討範囲について

- ・クロスパル高槻、郵便局、銀行等

○駅前に導入すべき機能について

- ・ホテル、コンベンション施設、企業等

○駅前広場機能について

- ・交流機能、防災機能、サービス機能、都市環境形成機能等

○交通空間の構成施設における課題整理について

- ・歩道：歩行者と自転車が輻輳している
デッキの支柱などにより歩行者の通行が阻害されている
- ・地下道：グリーンプラザを繋ぐ地下道は通行量が少なく、施設が老朽化している
- ・バス乗降場：バス乗降場に一般車が進入している
- ・駐輪場：検討範囲内に駐輪ラックが分散している

2－3 今後の取組

J R 高槻駅南地区の再整備について、今年度整理・検討を行っている都市機能及び都市基盤の在り方を準備組合と共有するとともに、来年度より準備組合が予定している計画骨子の作成に合わせ、本市においても公共施設（駅前広場・道路等）の配置計画の検討を行い、公共施設の管理者として適切に協議を行うなど、当該地区が中核市高槻の玄関口としてふさわしい魅力と風格をもつものとなるよう引き続き準備組合の取組を支援する。